

遺族大会 知事
挨拶

本日茲に揖斐郡遺族大会
を開催せられるに当りまして所懐
の一端を申述べる機会を得ま
したことは私の最も欣幸とする
ところであります

御遺族の皆様の日頃の御生
活につき物心両面からいろく心に
かけながらも種々の事情に制約
せられまして今日まで過して来ました
ことは誠に申訳なく遺憾に存じて
おる次第でございます

終戦後七年の歳月を経過し
その間 私達国民として幾多の
苦難に堪えて来たのであります
が特に一家の柱とも頼む御肉親を大
陸に或は南海の戦場において失
われました御遺族の皆様方の
御傷心につきまして深く御同情申し
上げますと共にこの苦境の中にありま
して今日の厳しい経済社会情勢
の下で祖国復興の道を歩んで
日々御努力を続けて居られますこと
を衷心から感謝致して居るのであ
ります

過般連合諸国の理解によって講
和条約発効の日も近づき一応独
立国として占領下幾多の制限
がとかれ政府におきましても御遺族の

処遇につき準備中であると聞きまして誠に御同慶にたえないところであります。一日も早くこれが実施をみまして御不幸な皆様方を些少なりともお慰めできますことを心から願って居ります。

現在の国際状況或は経済状況におきましてはなかく御満足のゆくまでには程遠いことと案じられるのであります。が今後ともお互に一層の努力を重ね、国力の増強を図り、一日も早く不安のない生活のできる日が参りますことを希念する次第でございます。

只今皆様方が決議せられ要望せられました事項につきましては私共も関係方面に対し其旨を伝えて御助力申上げ且つ県に対する御要望等につきましては充分検討の上努めてこれに添い得るよう努力致したいと存するものであります。

終りに当りまして御靈魂の冥福と皆様方の御多幸をお祈りして私の御挨拶と致します。

昭和二十七年四月七日

岐阜県知事 武藤嘉門